

おたしからあなたへ

No.32

平成29年1月 発行

社会福祉法人 相双記念会
障害者支援施設
ふきのとう苑

福島県相馬市富沢字松道19
TEL 0244-35-3090
FAX 0244-35-1171
MAIL: info@fukinotouen.jp
編集責任者 広報委員会

ふきのとう とこ



『社会福祉法人制度 改革の年を迎えて』

社会福祉法人 相双記念会

理事長 宮田 弘幸

平成二十九年も無事にスタートをきることができ、役員並びに各事業所職員と共に元氣な風が吹く経営ができるよう取組んでいます。

さて、今年四月より「公益性・非営利性を確保する観点から制度を見直し、国民に対する説明責任を果たし、地域社会に貢献する法人の在り方を徹底する」との目的のもと『社会福祉法人制度の改革』が本格的に施行する運びとなっております。

一つには、経営組織のガバナンスの強化です。主に、役員・理事会・評議員会の権限・責任に係る規定の整備があげられています。

二つには、事業運営の透明性の向上です。財務諸表等対象となる書類等の公表等について法律上明記されることとなります。

三つには、財務規律の強化です。内部留保の明確化と計画的な社会福祉事業への再投資が義務化されます。

四つには、地域における公益的な取組を実施する責務です。生活上支援を要する者に対して無料又は低額料金で福祉サービスを提供することを責務として規定することです。

最後に、行政の関与の在り方についてです。主な内容として、国・都道府県・市の連携を推進し、法人への指導監督の機能を強化するということです。

このような改革元年において、当法人は既に取り組んできていることがほとんどです。今後においてはより真摯に、且つ機能的に法人経営ができるよう、役員並びに各事業所と連携を図るとともに、福祉ニーズに対応できるサービスの充実を目指していきます。今年も、何卒宜しくお願いいたします。

『新年を迎えて』

障害者支援施設 ふきのとう苑

施設長 木口 幸雄

平成二十九年がスタートし、利用者様と職員の一年間の健康と安全・安心な生活を希望しているところです。

昨年は、障害者の施設においては驚愕する大きな事件のあった年でした。当施設においては、防犯の実務訓練や「さすまた」と呼ばれる防犯用品を整備するなど、職員の防犯に対する意識の高揚と、緊張感を持った業務への取り組みについてお願いしたところです。

さて、今年目標としては、ふきのとう苑で生活している利用者様が、満足できる生活が出来るよう職員一人ひとりが、利用者様のニーズに応えら

れるように努めていきたいと思っております。そのためにも、職員の行動指針として『迅速』『確認』『説明』『丁寧』『傾聴』『共感』の精神を常に意識づけて処遇対応していきます。

次に、利用者様の食事提供についてですが、外部委託の業者様と毎月「食事委員会」を開催し、これまで以上に利用者様の要望に少しでも答えられるよう連携を深めて参ります。具体的には、新たに「ソフト食」の導入を図り、利用者様の身体状況に応じた食事提供ができるようになります。

終わりに、昨年から継続しての取り組みとして、職員の業務における「P D C A」サイクルの確立を図ります。また、新たに昨年後半より取り組んできている新入職員へのプリセプター指導システムの構築及び業務マニュアルの改訂による施設内OJTの充実に努める所存です。

本年も、どうぞ宜しくお願いいたします。

『グループホームから 年頭のあいさつ』

グループホーム ふきのとう

管理者 宮田 恵子

初日の出が富士山山頂と重なり、見事なダイヤモンド富士がお目見えした元旦の一日、日本列島は全国的に晴れ

て穏やかな年明けとなりました。我がグループホームふきのとうも利用者様と元気に、おせち料理を食べ新年を迎えることが出来ました。これもひとえにご家族様や地域の皆様のご協力とご支援、更に、関係機関の皆様のご指導ご鞭撻の賜物と心から感謝申し上げます。

一昨年の十二月十四日に開所してから早いもので一年が経過いたしました。現在は7名の入居者様の共同生活援助サービスを提供しております。一人ひとりの障がい特性に合わせた、過ごし方が出来るよう作成した個別支援計画は「できることは自分で、できないことは助けられながら、がんばり過ぎずに仲間とともに健康で快適な自分の人生を楽しむマイホームを提供します」。を基本方針に掲げ、利用者様の人生を一緒に考え、笑顔で希望ある人生を歩いていただきたいとの願いが込められております。

今年も、定員の十名人居を目標に、職員一同地域の福祉資源の一助となるよう、より一層精進して参りたいと思っておりますのでよろしくお願い申し上げます。



新人職員紹介



介護部
小野 加代

昨年の六月一日に入社して八か月が過ぎました。

以前は老人施設に勤務していたので、老人介護の経験はありませんが、障害施設での経験がないので不安が凄くありましたが、先輩職員の方々のご指導を頂きながら、ようやく業務にも慣れてきました。まだまだ、至らない所が沢山ありますが、これからも宜しくお願ひいたします。



管理栄養士
大内 香澄

十一月からお世話になっております、管理栄養士の大内香澄と申します。

二年ほど前にも臨時でふきのとう苑におりましたが、以前と変わった事も多く、仕事に時間がか

かり皆様にはご迷惑をおかけしております。

久しぶりに来苑した私を覚えて下さった利用者様が多かった事がとても嬉しかったです。

管理栄養士として、利用者様の体調・体重の変化に応じた食事を提供することはもちろんですが、何より喜んで頂けるような食事を提供していきたいと思っておりますのでよろしくお願ひ致します



介護部
佐藤 柊子

一月からふきのとう苑に入職しました生活支援員の佐藤柊子です。郡山の特別養護老人ホームで三年間勤めていましたが、結婚を機に相馬に引越してきました。

まずは利用者様とのコミュニケーションを大切に、私の顔を知って頂くことから信頼関係を築いていきたいと思ひます。

新しい土地で、笑顔で頑張りたいと思ひます。よろしくお願ひ致します。

東西南北

家族会

会長 市澤 廣子

明けましておめでとうございませう。今年も元気で過ごせ、笑顔の多い一年になりますよ、皆でゆつくり歩いてゆきましょ。

ふきのとう苑も、試行錯誤しつつ土台を作る時期を過ぎ、より充実した内容を盛り込んでゆく時期に差し掛かったと言えらるでしょう。利用者が日々安定した気持ちで平穏な生活を送れるように、心を砕いて動いてくださり、また委員会活動などで、利用者の生活に潤いを添えてくださっている職員の皆様へ深く感謝しております。今年もよろしくお願ひいたします。

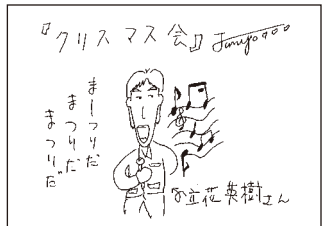
さて、先日ある会合で楽しい話を聞きました。原発事故以前には、キラリと光る革新的な施策と、その変容ぶりが首都圏の新聞にもしばしば取り上げられた村での出来事です：もうだいたい以前のことになるのでしょうか、ある新年、

若者たちが集まって「青年の主張」ならぬ「青年ほら吹き大会」を開催した、そこで出た大言壮語(?)のひとつ、農家の主婦が海外を見るといふ話を、ぜひ実現させたいと立ち上がった若者がいて、農家を一軒一軒回り家族を説得、行政を説得、ついに農繁期のお嫁さん海外視察団が出発した、見聞を広めてきた彼女たちが、自分たちの望む生活・望む村の姿について自信をもって発言するようになり、そこからまた新しいアイデアが飛び出すというような好循環が生まれ、村の姿が変わってゆく一助になったという：(もちろん村の人々の思いをしっかりと受け止めてその実現のために働いた為政者と、それを支える多くの人がいたという事実は論を待たない。がんばれ飯館村!)

皆が憧れる皆の「夢」を、多くのの人々と語り合うことが、夢の実現への第一歩だということ。ふきのとう苑でも、職員の皆様方、利用者、家族後援会、地域の方々、心を寄せてくださる方々と、ふきのとう苑に描く大きな夢を語り合いたいものですね。



笑のふき しゃんや日記 No.3





利用者さん紹介



職員 星さんと村井義友様との対談を紹介します。

村井さんこんにちは。利用者さん紹介今回で二回目ですね。

そうですね。利用者さん紹介僕から始まったんだね。

今までふきのとう苑の行事で楽しかったことは何ですか？

去年外出支援で家族と一緒にモナカ工場見学に行った時が一番楽しかったです。

モナカ工場はどうでしたか？

モナカを作っているところを見学して抹茶モナカを試食して来たんだよ。

今後行きたいところは、ありませんか？

ビール工場行ったことないから行ってみたいです。

ビール工場行けたらいいですね。今日はありがとうございました。

はーい サビ管室です

理学療法士 愛澤 秀和

寒さと痛みの関係

寒くなると、腰痛や膝痛などを訴える方が増えてくるのはなぜか。実際に寒さは体によどのような影響を及ぼすのでしょうか。

まず、寒くなり体が冷えると、指先や足先の血管が収縮して筋肉への血流量が減ります。血行不良などが原因で筋肉の温度が低くなると、筋肉の活動に必要な酸素を血液から取り込む量が減少するため、筋肉は酸欠になり、硬くなります。

筋肉が硬くなる＝柔軟性が低下するということになるので、急な動きによる肉離れなどの危険性も高まります。寒い日の運動前は、ウォーミングアップを十分に行って体を温め、筋肉の柔軟性を向上させてから運動を始めるのがポイントです。筋肉が酸欠の状態になっていて、筋力が発揮される力や持久力も低下することになるので、より良い運動にするためにも体温を上げる事が重要です。



次に、寒さで痛覚や触覚なども過敏になります。痛みの理由は筋緊張による神経の圧迫から起こります。筋肉の強張りによって、痛覚や触覚などの神経が圧迫され、敏感になり痛みや痺れなどが出ます。寒さが厳しくなる冬場に神経痛、関節痛、腰痛や肩こりが増えるのも神経が敏感になる事と筋肉が硬くなる事が大きな理由の一つです。

さて、筋肉が生み出す熱の量は筋肉の量に比例するため、筋肉をつければ熱の量も増し、冷えによる体の不調を予防できます。筋肉の量が少なく、足の筋肉が収縮して血液を心臓に戻す働きがうまく働かず、血液が体の末端まで行き渡らないため、手や足先が冷えやすく、筋肉の「量」を増やす事が大切です。

最後に、固くなった筋肉は柔軟性が低下しているため、柔軟性を回復させるためにストレッチが効果的です。冷えて固くなった筋肉をストレッチする時に注意したいポイントは、目的とする筋肉がうまく伸びるように行うことです。冷え予防のためにトレーニング、冷え解消のためにはストレッチを取り入れて、冷えや痛みを撃退しましょう。

こんにちは 給食室です



をしたいと思います。

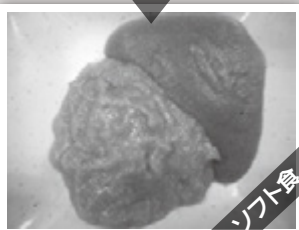
ソフト食とは、簡単に説明しますと、ミキサーにかけてペースト状にした食材にゲル化剤を加えて固めた物です。

今まで、嚥下状態に問題がある利用者様には、ミキサー食を提供しておりましたが、液体状に近い為、むせ込む様子が多々見られました。

ソフト食は舌でつぶせる硬さの固形になっていて、スムーズに飲み込む事が出来、また味や香りの変化も少なく済みます。

ソフト食導入から二ヶ月程になりますが、改善すべき点はまだ多く見られます。日々調整・改善し、より良い食事提供が出来る様努力していきたいと考えておりますのでよろしくお願い致します。

鶏肉と野菜のトマト煮



皆様こんにちは。今回は、当施設で十一月から導入が始まりました【ソフト食】についてのお話し

こんにちは、通所です

生活介護事業(通所)の活動内容を紹介します。

10月

カレー作り



11月

外出

はやま湖

記念撮影

セデッテかしま



イオン相馬

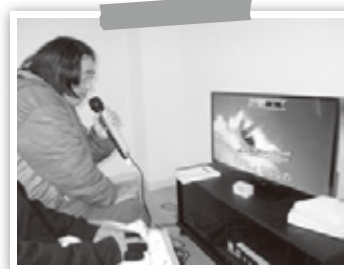
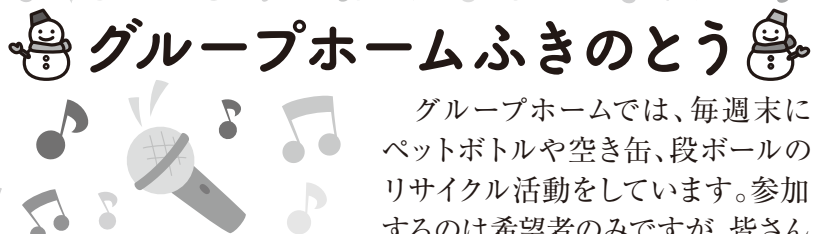


グループホームふきのとう

グループホームでは、毎週末にペットボトルや空き缶、段ボールのリサイクル活動をしています。参加するのは希望者のみですが、皆さん精力的に参加しています。

なぜなら…

活動で得た収入で、皆さんの欲しい物を買えるからなのです!!!そして遂に念願のカラオケ機器を購入しました。皆さん毎日のように歌っています♪♪♪





まだまだ寒い毎日です。風邪など引かれませうように。
(奈)

あとがき



ボランティア
ありがとうございました。



川柳
頭禿げ
眉毛はげても恋したい
ありがとう
感謝のなかに幸せが
(船山 孝二)